

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

181-653

事務事業名	学校施設維持改修事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	学校教育課			1	10	2	1	12	3	76,265
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり				包含する細々目	1	10	3	1	12	2	45,600
施策	22 義務教育の充実											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議								
		事業期間		年度～	年度							
					関連計画条列等	学校施設管理事業						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	市内の小中学校 児童・生徒	小中学校数(校)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			29	29		
	児童・生徒数(人)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		最終目標達成年度	
		9639	9550			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
不具合を解消する 教育環境が向上する	施設を小破修理修繕及び改修した学校数(校)	18目標	29	最終目標	29	
		18実績	29	19目標	29	↑
		23目標	29	23実績		最終目標達成年度
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		↑
		23目標		23実績	最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	小中学校29校の学校施設を維持・修繕及び改修をする。 <参考>細々目名:施設改修費	施設全体の小破修理修繕 ・漏水修理、雨漏れ修理、硝子破損修繕、電気設備修繕、外構修繕、プール修繕、凍結破損修理、消防設備修繕、機械設備修繕、遊具修理、内外壁床天井内装修繕、法定点検による修理修繕、その他小破修理修繕 施設全体の不具合の改修 ・トイレ改修・手摺設置・特殊教室改修、漏水改修、雨漏改修、電気設備改修、プール改修、安全対策、遊具修繕、上下水施設改修、内装改修、外装改修、法定点検による改修、その他施設整備	H18年度実施学校数(校)	29
	18年度の実績	施設全体の小破修理修繕 ・漏水修理、雨漏れ修理、硝子破損修繕、電気設備修繕、外構修繕、プール修繕、凍結破損修理、消防設備修繕、機械設備修繕、遊具修理、内外壁床天井内装修繕、法定点検による修理修繕、その他小破修理修繕 施設全体の不具合の改修 ・トイレ改修・手摺設置・特殊教室改修、漏水改修、雨漏改修、電気設備改修、プール改修、安全対策、遊具修繕、上下水施設改修、内装改修、外装改修、法定点検による改修、屋内消火栓設備改修、その他施設整備	H19年度実施予定学校数(校)	29

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	-	0
一般財源	112,981	121,865	
事業費計(A)	112,981	121,865	
人件費	正規職員所要時間	18年度 1,000	19年度 1,000
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	3,576	3,576
	トータルコストA+B	116,557	125,441

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	良好な教育環境のなかで児童、生徒(含外国籍児童、生徒)が生きる力(知育、德育、体育)をつけることができる。 児童、生徒(含外国籍児童、生徒)が生きる力(知育、德育、体育)をつける。	良好な環境で授業を受けることができる児童、生徒数の比率 学校が楽しいと感じている児童生徒の割合	現状値	86.5	19実績	
			20実績	84.8	21実績	
			22実績		23目標	91
			22実績		23目標	90
		文科省基準を満たした学校の数(ムトス指標)	現状値	29	19実績	
		20実績		21実績		
		22実績		23目標	29	

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
建物を建築及び設備を設置した年度から実施。 建物の老朽化と共に雨漏り等発生、給排水設備の漏水、電気設備不良、プール施設不備、消防設備不備、機械設備不良、遊具施設不備、内外壁床天井内装劣化等、その他小破修理修繕が頻繁になったため。	建築基準法、消防法、学校保健法、浄化槽法等により義務化された保守点検により修繕、改修指示の件数が増加している。 建物の老朽化に伴い不良不備箇所の増加が見られる。 平成14年3月、国交省において「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」が制定された。	体育館の雨漏りで自治会から改修要望があった。プール設備の不良により父兄から早期改修の要望があった。 外構整備要望が市議会議員からあった。

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がない (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	予算内で法改正、安全性、緊急性等考慮し修理修繕、改修を行う。 学校施設耐震化推進事業との連携を取りながら改修を行う。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	